海の声

地域の皆様と保護者の皆様と
子どもたちとわたしたち
御所浦小でおこすステキな奇跡

～VOICE OF OCEAN～

御所浦小学校
学校通信
令和4年3月4日
文責・米料純一

48

できる限りいっぱいの情報を掲載しようとしたら、文字が小さくなってしまいました！ホームページなら拡大してカラーで閲覧できます

文字が大きくできる御所浦小ホームページはコチラ→

リモート人権集会 ～人権教育とICT活用と～

3／3(木)は3学期第2回人権集会でした。第1回に続きリモートで実施しました。ただ第1回と違い、各学級の学びの発表がありましたので、発信元を切り替えるなど、リモートに係る操作は第1回よりも難易度が高くなりました。しかし、先生たちは前日に接続テストで確認をし、人権委員の子どもたちもその役を上手に務め、とてもよい集会となりました。

そして各学級の発表の内容もとてもすばらしかったです。それぞれ紹介しますので、ご家庭で話題にしてくださると子どもたちの人権感覚にもっと磨きがかかります！子どもたちが未来を生きるとき、もちろん仕事のスキルや知識も大切ですが、「心が育っている」ということは今よりもっと、とても大切なことになっている予感がします。

この子たちがこの島を出るときまでできる限りせいいっぱいの愛情を注いであげましょう！もっともっと心を育ててあげましょう！大好きだよってたくさん言ってあげましょう！

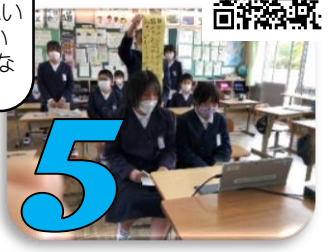
(発表原稿抜粋)1年生は「それっておかしいよ」を学しゅうしました。ある日の休みじかん、ぼくはすべり台のじゅんばんをまっていました。「入れて」と言ってむりやりまさくんがよこ入りしてきました。そのときのぼくの気もちを考えました。「いやだなあ」「みんながめいわくとおもうだろうなあ」「かなしいな」「みんなもすべりたいよ」といけんが出ました。わたしたちはおもっていても気もちがつたえられないことに気がつきました。じぶんの気もちをあいてにつたえることはむずかしいです。でも「いやなことはいや」とはっきりつたえようとおもいます。

(発表原稿抜粋)私たちは、人権旬間に「幸子さんとわたし」というお話を学習しました。これは車いすに乗った幸子さんが、朝のマラソンの練習を毎日がんばるお話です。幸子さんは最後に自己新記録を出します。「私は障がいのある人もがんばりたい気持ちは同じだとわかりました。障がいがある人もどうしたら過ごしやすくなるか、それぞれの人の立場になって考えていきたいです。」「また授業の中では、パラリンピックの車いすバスケットの動画を観ました。ぼくは車いすに乗ったままシュートするところがすごいと思いました。そして自分がするスポーツを、ぼくもがんばりたいです。」「5年生ではもっと仲良くなれるように男女関係なく遊んだり、授業中友達の発表に反応したりしたいです。」

(発表原稿抜粋)道とくの時間に「大すきなフルーツポンチ」という話を読んで、どんなことが大切なのかを考えました。」2年生の人けんもくひょうは、「ごめんね、だいじょうぶが言えて、人によってたいどをかえず、ひとりぼっちを作らない2年生」です。クラスでふりかえりをしたら、ないている友だちがいたときに「だいじょうぶ？」が言えたという話が出ました。また、ひとりぼっちになっている友だちを見たときに「いっしょにあそぼう」とさそったという話も出ました。これからも、人けんもくひょうをわすれずにたすけあう2年生になりたいです。

(感想発表抜粋)わたしは、「しょう太の手紙」を読んでいじめはぜったいしないで、いじめられていたら止めることが大切と思いました。いじめのない楽しいクラスにするために自分に何ができるか考えました。もし、だれかがいじめられていたら、止めようと思いました。理由は、いじめは見たことないけど、止めないとずっといじめられたまんまだからです。いじめは、いじめられた人がいやな気持ちになるので止めたいです。

人権集会の59秒動画はコチラ→



(感想発表抜粋)1つ目は、うわさ話などはぜったいにしてはならないということです。これまでの自分は、まだ本当かわかってないことをすぐに友達にていました。しかし(水俣病の)語り部さんの話や道徳の学習などで、うわさ話をして何が楽しいのかそして自分がされたらどう思うかを考えることが大切だなあと学ぶことができ、うわさ話をしないように変わることができました。(中略)3つ目は、いじめや差別はしてはいけないということを強く言える勇気を持つことが大切ということです。「ここで自分が言わなかったら後からどうなるかな」を考えて、強く勇気を持って言えるようになりたいです。

(発表原稿抜粋)6年生の人権学習では、そんな部落差別をなくそうと立ち向かったおじいさんの話「おじいさんのたたかい」を読んで学習しました。(中略)そこで6年生では「本気で差別をなくすためにはどうしたらいいか」という議題で話し合いました。6年生の考えは3つです。1つ目は集会を開くことです。御所浦小学校の人権集会のように大人になっても一人一人を大切にするための話し合いが必要だという考えが出ました。2つ目はルールを作ることです。このルールとは、人との共通点や異なる点をお互いのよさとして認めるというものです。3つ目は差別をしてしまった人と話すことです。差別は絶対に許されませんが、差別をした人が差別はだめだと理解しないと差別はなくなりません。そのために差別はだめだと理解してもらえるまでとことん話をします。このようにみんなで本気で差別をなくすためには差別した人もされた人もお互いを認め合っていくことが大切だと思いました。6年生がみんなに一番伝えたいことはこの言葉です。「みんなちがってみんないい」みなさんもぜひ言ってみてください。この言葉を大切にこれからも御所浦小学校をよりよい学校にしていってください。

(終了)(さとうみきえ記)

だれの言葉？ いい言葉は心にひびく

子ども向けの歌をたくさん世に出して、そして解散した伝説のグループ、トラや帽子店。代表曲は、つるの剛士さんが歌った「にじ」や「世界中の子どもたちが一歩一歩ともだちに」「はじめの一歩」「ともだちになるために」「ハッピーチルドレン」など。「エビカニックス」のケロポンズの人も仲間です。

(答えは右端です)